

京都から学ぶこと

歴史からの創造



新行政棟・文化庁移転施設

© 小川重雄



京都御苑の3つの休憩施設 近衛邸跡休憩所

© 小川重雄



烏丸御池のタイポロジーハウス

© 阿野太一

建築家にとって、伝統とは歴史への挑戦の堆積を意味するだろう。

近年、京都では近代建築のリノベーションが盛んに行われ、つぎつぎと新しい施設に生まれ変わっている。また町家も、様々な改修の工夫によって新しい命が吹き込まれている。京都の歴史をあらたに解釈した建築家に、京都から学んだこと、京都の新たな展望について語っていただく。

申込先

日本建築学会大会
専用ウェブサイト
より事前申込み

記念シンポジウム1

9/13 水 14:30 受付・開場
15:00 ~ 17:00

会場

京都大学
百周年時計台記念館
百周年記念ホール

定員

300名 会員および一般市民 入場無料
+ オンライン参加

登壇者

香山 壽夫

建築家 東京大学名誉教授

北山 恒

建築家 横浜国立大学名誉教授

岸 和郎

建築家 京都大学名誉教授

進行

田路 貴浩

京都大学教授